



海上自衛隊



第4術科学学校



電子版



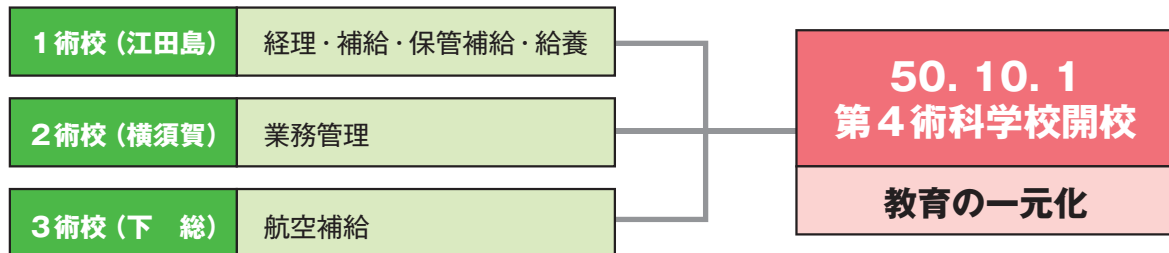
沿 革

昭和27年4月海上警備隊が発足し、昭和29年7月防衛庁の設置と共に、海上警備隊は海上自衛隊となりました。

「経理・補給」の術科教育は、昭和28年12月横須賀市田浦の警備隊術科学校で開始されました。幾多の変遷を経た後、第1、第2、第3の各術科学校で分散実施されていた、経理、補給、給養及び監理の各術科教育の一元化を図るため第4術科学校が昭和50年10月、当地に設置され今日に至っています。

なお、現在の本校庁舎は、昭和5年3月「海軍機関学校」の横須賀（江田島への臨時移設を経て）から舞鶴への移転に伴い新築された生徒館を改修し、使用しています。

昭和 28.	9. 16	警備隊術科学校設置
29.	7. 1	海上自衛隊術科学校発足
33.	4. 1	第1、第2術科学校開校
36.	2. 1	第3術科学校開校
50.	8. 1	旧海軍機関学校生徒館の改修



建学の精神

『不進則退』

（進まざれば、すなわち退く。）（出典：「近思録」第8巻）

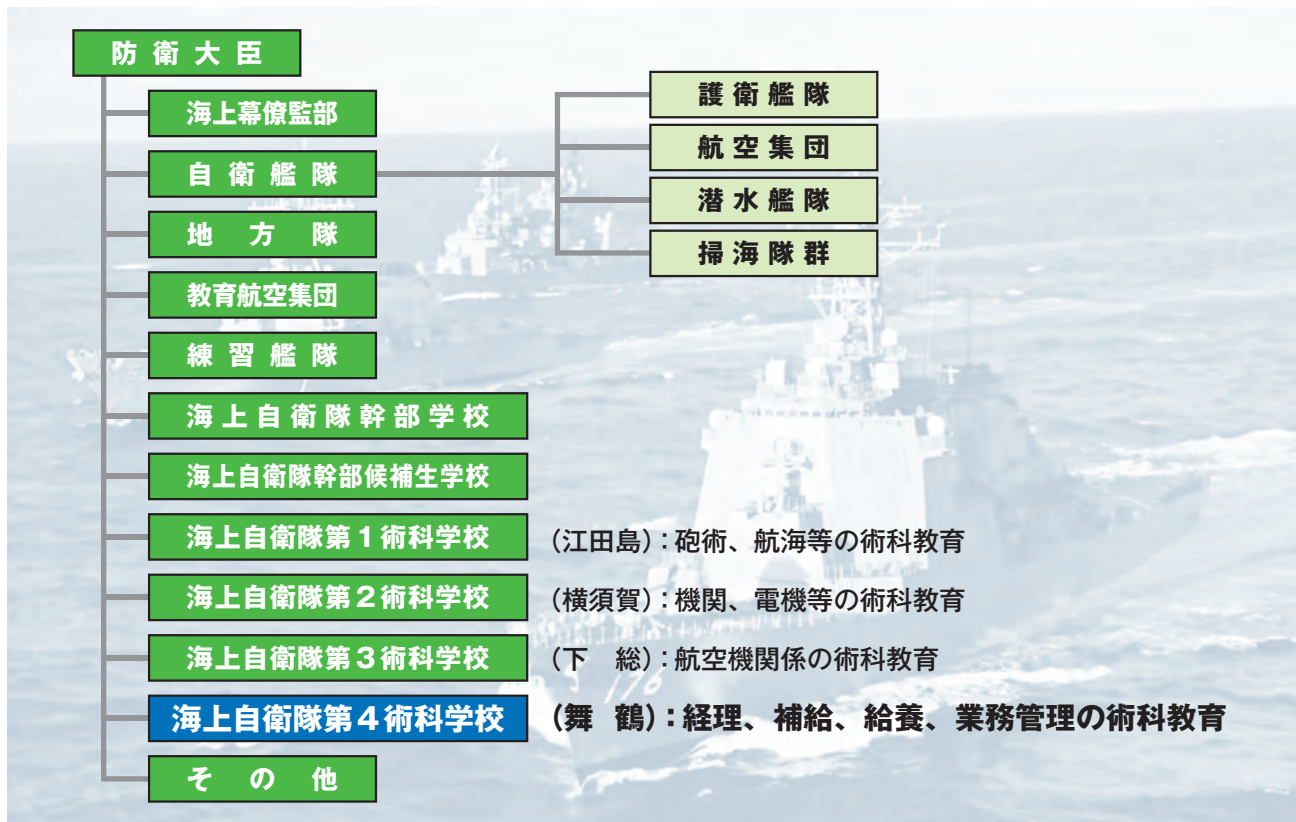


開校以来、当校には、校務運営の精神的基盤として「不進則退」の精神が継承されています。この言葉は、4術校設立に尽力された元衆議院議長故前尾繁三郎氏により、揮毫し贈られたものです。本校では、現状維持にとどまることなく、目標達成に向け、常に前進する精神を大切にしています。

（扁額は、庁舎2階、公室入口上部に掲げてあります。）

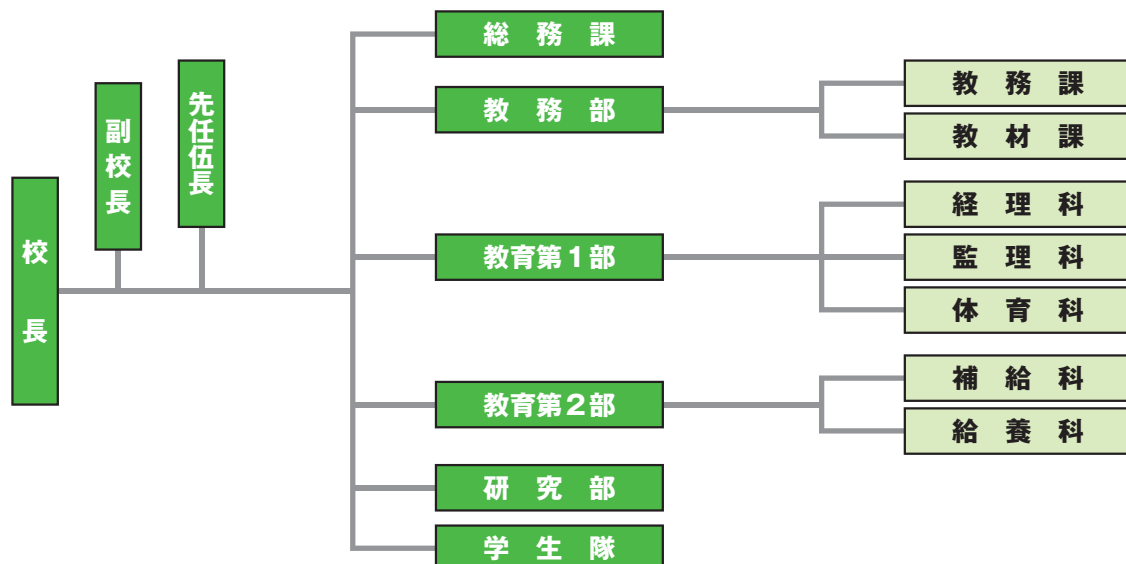


海上自衛隊における第4術科学校の位置付け



任 務 ・ 組 織

本校では、海上自衛隊における経理、調達、補給、給養（調理、栄養管理等）及び監理（業務管理）に必要な知識技能を習得させるための教育訓練等を行うとともに、これらの術科について、部隊の運用等に関する調査研究を実施しており、校長以下約100名の職員及び教官が、次代を担う人材の育成に日夜努力しています。





海上自衛隊の教育の区分

海上自衛隊の教育は大きく二つに区分されます。すなわち、新入隊員に対して行われる基本的な素養教育と、付与された職種技能向上のためのキャリアアップ、技能教育です。

新入隊員教育（素養教育）

教育隊

（4か所）

自衛官候補生、練習員、
一般海曹候補生の教育

教育航空集団

（小月）

航空学生教育

幹部候補生学校

（江田島）

幹部候補生の教育

第4術科学校

（舞鶴）

事務官等の教育

キャリア・アップ（技能教育）

術科学校

（4か所）

第1（江田島）：艦艇運航等

第2（横須賀）：艦艇機関等

第3（下 総）：航空整備等

第4（舞 鶴）：経理補給等

教育航空集団

（4か所）

航空機操縦等

潜水艦教育訓練隊

（呉）

潜水艦運航等

本校の教育課程

年間26課程（年間56コース）、年間約1,100名の教育を実施しています。

幹部課程		
課程名		期間（月）
専攻科		12
中級経補		9.5
専門経補		4.5
海曹士課程		
課程名		期間（月）
海曹	経理	3.5
	補給	3.5
	給養	3.5
海士	経理	4
	補給	2.5
	給養	3

事務官等課程		
課程名		期間（月）
上級		1
中級		1
その他の課程		
課程名		期間（月）
幹部	特修科監理	1.5
	専修科燃料	1.5
	専修科契約	2
曹士	専修科契約	1.5
	専修科燃料	1
事務官等	経理	1
	契約	1.5
	補給	1
	厚生	1
	初級任務特別	1.5
	初任特別	1
中級管理講習		1
フォークリフト技能講習		0.5
初任海士給養教育		1

本校で学んでいる隊員

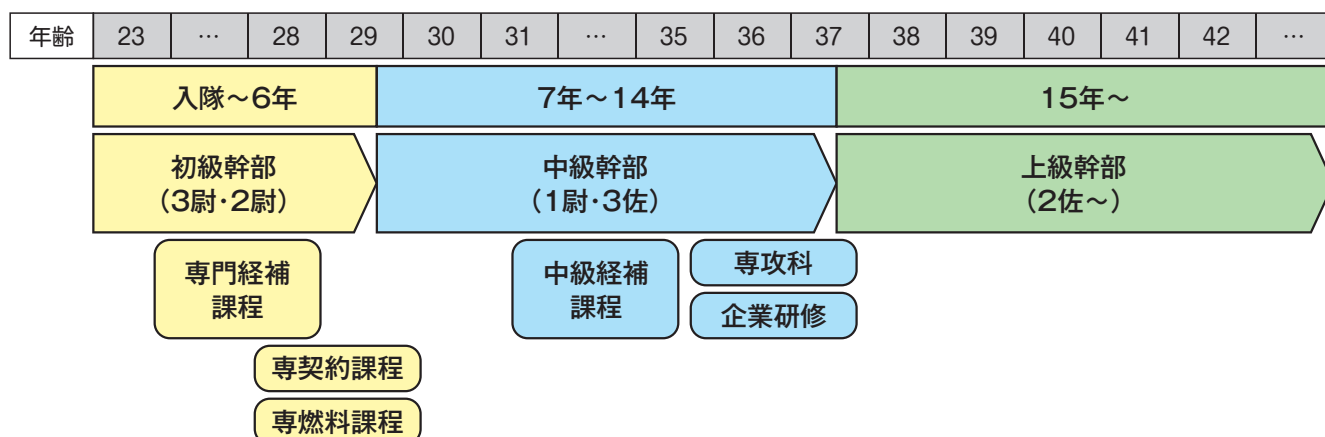
経補幹部

1 仕事の内容

経補幹部は、海上自衛隊の経理（予算管理、契約、出納、旅費計算、給与計算等）、補給（補給管理、資材、輸送、燃料等）、給養（糧食管理、栄養管理、調理作業）、厚生、監理（行政文書管理など）、非常に多岐にわたる業務を実施・監督しています。海上自衛隊のロジスティクスの要として、幅広い業務を所掌しています。

護衛艦や潜水艦などの艦艇補給長、航空基地や陸上部隊の経理部門・補給部門、監理部門、防衛省での予算要求業務等、全国の部隊・機関等で勤務します。

2 標準的なキャリアパス



幹部候補生学校卒業後、遠洋練習航海を経て、約1年間艦艇部隊で勤務した後、第4術科学校専門経補課程を修業し、経補幹部となります。この課程では経理、補給及び監理に関する基礎を学びます。また、中級経補課程で企業会計等の知識を学ぶとともに、部隊等の中堅幹部として必要な知識を学びます。

必要に応じて専修科契約課程、専修科燃料課程を履修し、専門的知識を得ることができます。さらには、選抜により専攻科及び企業研修を実施し、深く幅広い知識を得ることもできます。





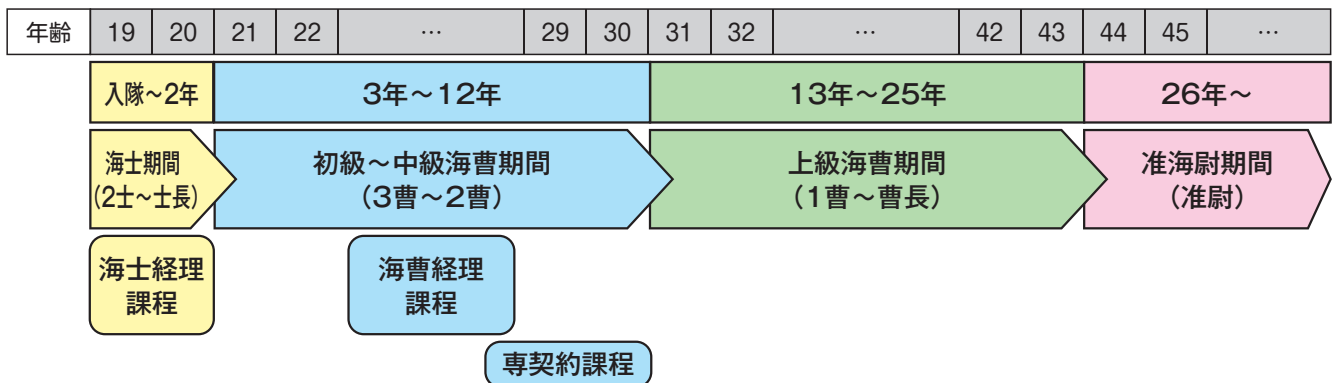
経 理 員

1 仕事の内容

経理員は、隊員の給与や旅費等を計算し支給する業務、物品の購入や工事等の契約業務のほか、総務、文書処理といった庶務業務を実施しています。また、隊員やその家族が、安心して快適な生活を送れるようにサポートする福利厚生業務も実施しています。

護衛艦や潜水艦などの艦艇、航空基地、陸上部隊など、全国の海上自衛隊の部隊で勤務します。

2 標準的なキャリアパス



教育隊修業後、経理補給要員として約2年間艦艇部隊等で勤務した後、第4術科学校の海士経理課程を経て、経理員となります。また、中級海曹期間には、海曹経理課程にて応用を学びます。

必要に応じて、専修科契約課程を履修し、契約に関する専門的知識を得ることもできます。



教 務



端末使用の教務



行進訓練



青葉山登山競技



補給員

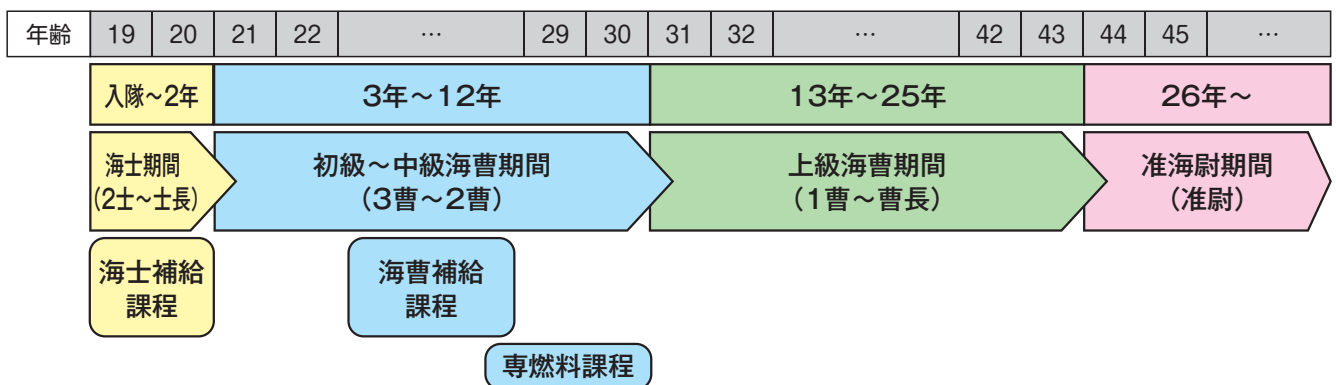
1 仕事の内容

補給員は、海上自衛隊の活動に必要な物資を効率的かつ迅速に準備し、部隊に提供する仕事をしています。

取り扱う物資は、護衛艦や航空機に搭載されている弾薬を始め、燃料、食糧品、衣服、事務用のコピー用紙まで実に様々です。

補給員の活躍の場は広く、護衛艦、潜水艦、航空部隊、陸上部隊と、海上自衛隊のほぼすべての部隊で勤務しています。

2 標準的なキャリアパス



教育隊終業後、経理補給要員として約2年間艦艇部隊等で勤務した後、第4術科学校の海士補給課程を経て、補給員となります。また、中級海曹期間には、海曹補給課程にて応用を学びます。

必要に応じて、フォークリフトの資格を取得することができます。





給 養 員

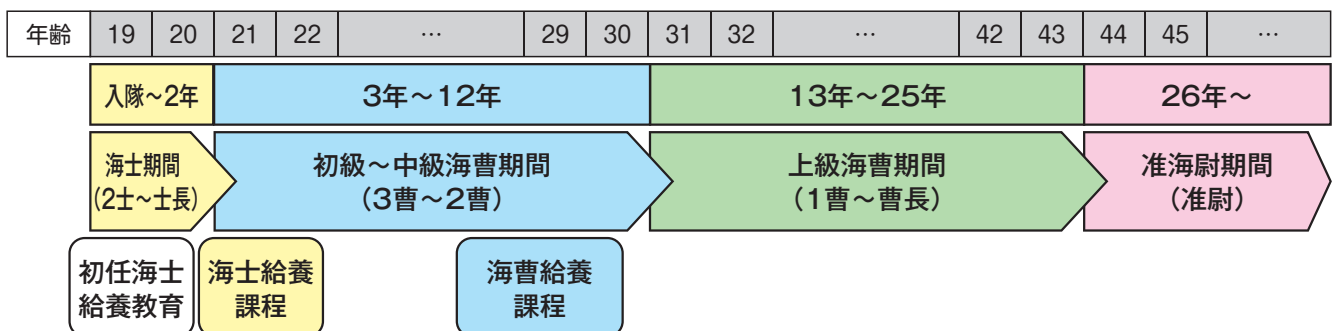
1 仕事の内容

給養員は、隊員に対し、給食を実施する仕事をしています。

給食を実施するためには、献立作成、食料品準備、給食会計、調理、配食業務、給食用の器材管理、衛生管理が必要となりますが、これらの一連の業務を海上自衛隊では給養といいます。また、給養業務とは別に、海上自衛隊の艦艇が海外に寄港した際のレセプション料理を作成し国際間交流を支援しています。

給養員の活躍の場は広く、護衛艦、潜水艦、航空基地、病院、陸上部隊のほぼ全ての部隊で勤務しています。

2 標準的なキャリアパス



教育隊修業後、経理補給要員として、約2年間艦艇部隊等で勤務した後、第4術科学校の海士給養課程を経て、給養員となります。また、中級海曹期間には、海曹給養課程にて応用を学びます。なお、調理師、船舶料理士資格を取得することができます。





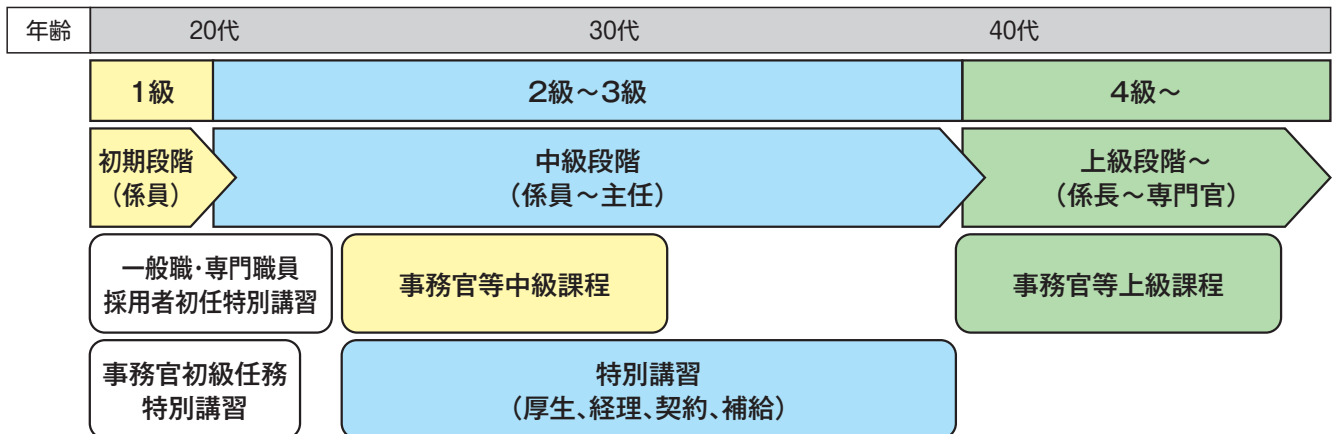
事務官等

1 仕事の内容

事務官等は、自衛隊の管理・運営など、後方関連の行政事務を実施しています。

行政事務には、厚生（福利厚生、共済組合等）、経理（予算管理、給与等）、補給（艦艇、航空機などを構成する部品の調達、補給等）などがあります。

2 標準的なキャリアパス



本校では、事務官、技官、教官、研究職及び共済職員への素養教育として海上自衛隊員として必要な精神的基盤を養い、防衛に関する一般的事項及び初級・中級管理者として必要な知識・技能を学びます。また、事務官への術科教育として厚生、経理、契約、補給に関する規則・制度・法令等を学びます。



本校の施設



4 術校庁舎

職員の事務室、
学生が使用する講堂などがある、
本校の中心となる建物です。

第1 学生館

主に、幹部学生が生活する場です。



第2 学生館

主に、曹士学生が生活する場です。



学生居室



男性浴室





屋内訓練場

150mトラックの他に、トレーニング設備が整備されており、雨天でも各種トレーニングを行うことができます。

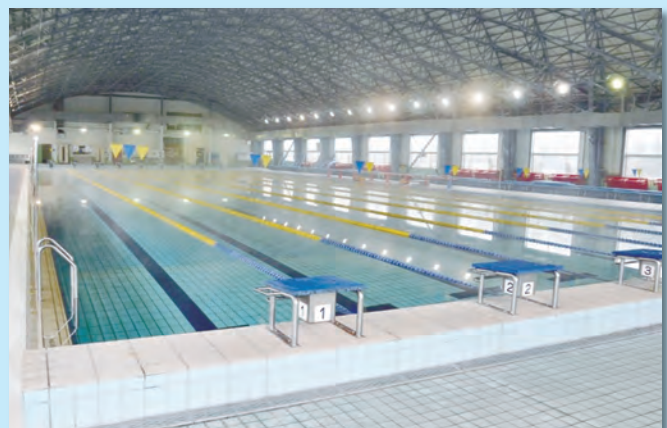
体育館

学生の体育教務に使用されるほか、舞鶴地区における各種球技競技会の会場にもなります。



屋内プール

50mの温水プールがあり、年間を通して水泳訓練を行うことができます。



武道場

柔道、剣道を行う道場です。



図書室

各種の専門書や戦史の他に、文芸書などもあり、学生が教養を深められるようになっています。





学生生活

- 0600 起床
- 0700 食事
- 0725 当直交代
- 0800 国旗掲揚
課業整列
行進訓練
- 0820 教務
- 1200
- 1200 食事
- 1305 教務
- 1645
- 1700 食事
- 1900 掃除
- 1930 巡検
- 1930 自習
- 2110
- 2200 消灯

起床



課業整列



行進訓練

教務



食事



巡検



訓練等



青葉山登山競技



オリエンテーリング (舞鶴市内)



行軍 (宮津方面)



表彰



分隊点検



佐久間艇長顕彰碑清掃活動



防火実習



防水実習

史料室



史料室は、平成27年10月1日、第4術科学学校開校40周年・戦後70年を機に、海軍主計科教育の開始から「140年の伝統を継承して」をテーマに開設しました。史料室には、海軍経理学校の教範類・当時の教務写真、海軍での会計規則類、主計科業務資料などを展示しています。



当直監事
申継簿

示達簿

当直日誌



日本海軍缶詰（赤飯）



生徒制帽



校章の由来



校章は、4術校を示す算用数字の4から構成され、金色の朝日の内側を4等分し、青は夏の海の青さを、白は冬の雪の白さを、赤は舞鶴の名にちなんで丹頂鶴の頭の赤を表現しています。また、羽ペン（経理）、鍵（補給）、ナイフとフォーク（給養）、白無地の部分は監理と、4術校が教育を担当するそれぞれの術科を表現しています。朝日を示す金地の中には、4術校の英字を黒く刻みこんでいます。

海上自衛隊の後方支援を一身に背負った舞鶴育ちの一羽の鶴が、日輪の中に凜として立つ姿がイメージされます。



第4術科学学校へのアクセス



住 所

〒625-8510 京都府舞鶴市字余部下1190番地

ホームページ

<https://www.mod.go.jp/msdf/fourmss/>